

6月例会

6月例会テーマ「瀬祭から学ぶファン作り〜磨きその先へ〜」

6月16日、尾道国際ホテルにて6月例会が開催されました。

今回は「瀬祭から学ぶファン作り〜磨きその先へ〜」と題し、株式会社瀬祭代表取締役社長・桜井一宏様を講師にお迎えしました。

講演では、創業時から現在に至るまでの歩みと、日本酒「瀬祭」誕生の裏にある並々ならぬこだわりについて、熱意をもって語っていただきました。

酒米の栽培から精米、醸造、瓶詰めに至る一連の工程すべてに情熱を注ぐ姿勢に、

凡事徹底を掲げる我々総務広報委員会も学ぶところが多くありました。

鼎談では、桜井社長に加え小田委員長・石岡委員が登壇し、実際の事例を交えた対話を通じて「ファン作りとは何か」を深掘りしました。

ファンはある日突然生まれるものではなく、共感と誠実な行動の積み重ねによって自然と生まれ「自称営業部長」といった形で広がる——その気づきは、私たちの活動にも深く通じるものでした。

質疑応答では現役・仮入会員からも活発な質問が飛び交い、桜井社長は一つ一つに向き合い丁寧にお答えくださいました。

翌日にはイタリアへ出発されるご多忙の中、例会後のアフターにもご出席いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

改めて、桜井社長ありがとうございました！
また6月例会を設えました総務広報委員会の皆さん、お疲れさまでした！

(記事：石岡由光)

2025年6月21日(土)、竹原市のグリーンスカイホテルにて会員会議所会議(KKK)が開催され、県内12LOMの理事長が一堂に会しました。会議では今後の活動方針について活発な意見交換が行われ、非常に有意義な時間となりました。さらに、今年尾道で開催される広島ブロック大会に向けた協議も行われ、各LOMが力を合わせ、成功に向けて準備を本格化させていく姿勢が確認されました。

会議後には懇親会も催され、参加者同士の親睦を深める和やかなひとときとなりました。中でも会場を大いに盛り上げたのが、「不健康決定手押し相撲トーナメント」。笑いと歓声に包まれた熱戦の末、三原青年会議所が見事優勝を果たしました。今後の12LOM連携強化とブロック大会成功に向けて、力強い一歩となる一日でした。

(記事：セクレタリー 今城佑基)

会員会議所会議





広島ブロックアカデミー

6月22日(日)、竹原青年会議所主管のもと「広島ブロックアカデミー」が開催されました。今回は1日開催の2部構成で、第1部ではJCセミナーを実施。今年は引率のベテラン会員にも学びがあるよう、ビギナー編とベテラン編の2本立てとし、ビギナー編には日本JC副会頭・神畑浩子講師、ベテラン編には直前副会頭・山田章夫先輩をお招きし、JC活動にける熱い想いをお聞きし、とても学びのある時間となりました。

第2部では、竹原の街を舞台にウォークラリーを開催。12LOM混合のチームで、街中のミッションに挑戦しながら交流を深め、最後には街歩きで見つけた“推しスポット”を寸劇形式で発表する【T-1グランプリ】も行いました。無茶ブリという名の修練を乗り越える中で、県内12LOMの絆も育まれたかと思います。

今年は尾道から17名、全体では200名を超える登録があり、近年のブロアカでは最大規模の開催となりました。ご参加いただいたLOMメンバー、また当日スタッフとして活躍頂いた出向メンバーの皆さまに心より感謝申し上げます。また今回の事業は、2022年に尾道で開催されたブロアカを大いに参考にさせていただきました！偉大な事業を築かれた諸先輩方にも、改めて深く御礼申し上げます。

私自身、委員長幹事として本事業に携わり、大変貴重な経験をさせていただきました。この経験を、次の代へしっかりと“伝承”していければと思います。

また、9月21日(日)には尾道主管で行う「ブロック大会」も控えております。引き続きブロック事業へのご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

(記事：広島ブロック協議会 理念共感拡大委員会 委員長幹事 徳永 雅之)





熱気あふれる祇園祭！ 尾道青年会議所メンバーも全力参加！

6月28日（土）、尾道の夏を盛り上げる「祇園祭」が行われました。祇園祭は、一つ巴・二つ巴・三つ巴という3体の神輿がまちを練り歩く、尾道の伝統的なお祭りです。それぞれの神輿に歴史があり、地域の人たちに長く親しまれてきました。

今年も尾道青年会議所は、担ぎ手として神輿に参加！さらに、祭りの安全を守るための警備も担当しました。重たい神輿をみんなで掛け声を合わせながら担ぎ、沿道の声援に背中を押されながら、まちの熱気を全身で感じる一日となりました。

地域の伝統にふれ、世代を超えてつながれるのが、祇園祭の大きな魅力。こうした行事に関わることで、まちをもっと好きになり、仲間との絆も深まります。

これからも尾道青年会議所は、地域とともに歩みながら、まちのにぎわいや伝統を未来につないでいきます！

（記事：小川 幹哉）

拡大中間報告



本年度の拡大活動では、20名の目標を掲げて取り組んでまいりましたが、現時点で15名の仮入会員を迎えることができました。これもひとえに、OB会員の皆様、そして現役会員の皆様のご協力とご尽力の賜物です。心より感謝申し上げます。なお、本年度の拡大期間は7月までとさせていただきます。残りの期間も目標達成に向けて全力で取り組んでまいりますので、引き続きのご支援とご協力を何卒よろしくお願いいたします。

（記事：事務局長 亀田 康寿）

委員会中間報告

広島ブロック大会実行特別委員会

私たち広島ブロック大会実行特別委員会は、9月21日の本番に向けて準備を進める中で、下見や体験を通じてイベントの魅力や雰囲気を肌で感じてきました。ブロック大会の下見として地域イベントに実際に参加し、その場の熱量を直に体感。大懇親会を行う予定の会場ではBBQを実施し、会場の動線や空気感を確認しました。



また、メンバーの絆を深めるため、ボウリングやカラオケ、寿司の大食いバトルのような楽しいことも定期的に行なっています。PRキャラバンの後には地元の飲食店に行ったり、ダムや蛸を見に行くなど、自然や文化にも触れ、思い出深いひとときとなりました。



ただ準備を進めるだけでなく、自分たち自身が楽しむことが、より魅力ある大会づくりに繋がると信じています。ブロック大会に向けて、委員会内の結束をより強固なものにするべく、日々有意義な時間を過ごしています！

(記事：広島ブロック大会実行特別委員会 幹事 坊農 和幸)

地域共創委員会

本年度の地域共創委員会における事業の進捗状況につきまして、下記のとおりご報告申し上げます。

【進捗状況】

- ・1月：新年宴会の実施
- ・4月：尾道みなと祭り「ロックリベンジャーズ」 出展
- ・6月：9月例会および本事業に向けた準備
- ・6月：祇園祭(三休廻し) ※6月28日(土)
- ・7月：御袖天満宮天神祭 ※7月20日(日)

現在は、9月例会および本事業の準備を並行して進めており、委員会を随時開催しながら内容の精査および打合せを重ねております。

また、7月から8月にかけては地域の法人会社や一般の方々にもご協力をお願いしながら、ポスター掲示や協賛のお願いなどを、各メンバーに役割分担して進めていく予定です。

本番に向けて、より良い事業になるよう委員会一同力を合わせて取り組んでまいりますので、引き続きどうぞよろしくお願い致します。

(記事：地域共創委員会 幹事 梅本 佳克)



輝く地域創造委員会

輝く地域創造委員会 委員長の西垣内です。

4月例会では、たくさんの方に支えていただき、無事に終えることができました。本当にありがとうございます。

当委員会では、委員会を重ねるごとにメンバー同士の距離も縮まり、自然と意見が飛び交う、あたたかい雰囲気の委員会になってきました。

現在は、夏期講習・本事業に向けて準備を進めています。

もちろん、うまくいかない場面もありますが、メンバーの前向きさに支えられ、私自身、力をもらっています。後半も、委員会メンバー一丸となって楽しみながら、全力で駆け抜けてまいりますので、引き続きご指導・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

(記事：輝く地域創造委員会 委員長 西垣内 健人)



未来の宝育成委員会

未来の宝育成委員会 委員長の中です。本年度、当委員会では3月例会と家族会を担当させて頂きました。気付けば本年度も既に半年が経過し、時間の流れの早さを感じるとともに、時間が止まれば…と思う日々を過ごしています。

まだまだ10月例会と本事業が残っており、地域の子どもたちのために何ができるか、委員会メンバー全員で日々奮闘中です。その過程で、学生時代に教育について学んできた事を思い出す場面も多く、教育の難しさを改めて感じる一方で、私自身が人生で大切にしてきたものに立ち返る良い機会を頂いています。これも委員長という立場にならなければ、忘れたままになっていたのではないかと思います。

また、事業を構築する上で、関係団体の方々や接する機会を多く頂いておりますが、この機会を頂けるのも、先輩方が地域の団体の皆様と築いてこられた信用の積み重ねがあつてこそだと実感しております。

日々、貴重な機会を頂いている事に感謝し、本年度を最後まで精一杯駆け抜けていく所存です。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

(記事：未来の宝育成委員会 委員長 中 直哉)



総務広報委員会

未来創造室総務広報委員会では、小田委員長が掲げるテーマ「凡事徹底」のもと、委員会活動に取り組んでおります。

尾道JCの活動、尾道の魅力を分かりやすく発信し、尾道JCのファンを増やせるようSNSも駆使しながら日々奮闘しております。



6月担当例会では株式会社瀬井の桜井社長をお招きし、ファン作りについて学びを得るための例会を設えさせて頂きました。



委員会ではメンバー同士のお誕生日会も開催し、コミュニケーションを深めながら残りの事業も一丸となり、頑張っておりますので、引き続きよろしくお願い致します。

(記事：総務広報委員会 山本 悠貴)



魅力ある組織づくり推進委員会

魅力ある組織づくり推進委員会では、5月例会「あなたが変われば組織が変わる」を開催しました。ご参加いただいた尾道青年会議所メンバーの皆様には、魅力的なリーダー・フォロワーとしての在り方を学んでいただけたことと思います。本例会を通じて、一人ひとりの意識が変わることが、組織全体の成長につながることを実感いただけたのではないのでしょうか。

現在、当委員会では、尾道に暮らす人々や観光で訪れる方々に、より尾道の魅力を知っていただくための事業を企画しています。高橋委員長を中心に、委員会メンバー全員で力を合わせ、尾道の良さを発信できる事業にまいります。今後ともご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

(記事：魅力ある組織づくり推進委員会 幹事 荒川 翼)



編集後記

「パパのおなかの赤ちゃん、いつ出てくるの?」…娘のその一言で、JCダイエット部・沼尾、再起動。「名前どうする?」って、もう育てる流れじゃん。いや、違う違う。これは脂肪。まごうことなき脂肪。2年前のダイエット企画?全滅だったよ。でも今年は違う…はず。まずは、買って放置してたヨガマットを開封。目標?まずは体重計と向き合うことから。そんなこんなで、ただいま部員募集中です。

(記事：沼尾 一)

